

## けがをした！どうしたらいいの？ 歯の外傷発生時の対応



## はじめに

障害のある人は、運動機能の障害や発作などが原因の転倒により、歯が欠けるなどのケースが多々見られます。今回は、このような事態に遭遇した場合のケース別対応についてご紹介します。

### ケース①

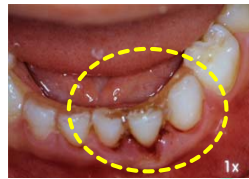
歯がぐらぐらになった！位置がずれた！



公園で遊んでいる際、遊具にぶつかり乳前歯が前方にずれる。

参考資料：テーマパーク 8020

### ケース①の対応



ずれた歯を元の位置に戻して、内側から固定したところ。

軽度の動揺の場合は、受傷した歯をできるだけ安静にして様子を見ますが、ケースのように位置がずれた場合は、歯を元の位置に戻し、両脇の歯と連結し周りの組織の回復を待ちます。

参考資料：テーマパーク 8020

### ケース② 歯が欠けた！（破折）



玄関先で発作により転倒。下あごを強打し50針縫う。事故から3ヵ月後の定期歯科健診で右上の奥歯3本が欠けていることを発見。



### ケース②の対応



歯のレントゲンを撮り神経に問題がなければ、歯が欠けたところは銀歯や冠をかぶせる処置をします。



### ケース③ 歯が折れた！（破折）



家の中で兄弟と遊んでいた際に  
転んで上の前歯を破折。



神経が見えている



欠けた歯の半分

### ケース③の対応



歯の中の神経が見えるほど大きく  
折れてしまった場合には、歯の根  
の治療が必要になります。

神経の処置をしてから、歯の形を  
審美的、機能的に修復。



### ケース④ 歯が半分折れた！（破折）

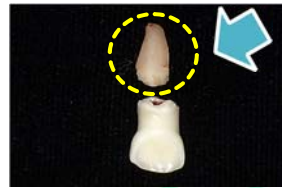


転んで引き出しに強打。  
歯の根が歯ぐきの中に残ったまま、  
歯の上の部分の乳歯が折れた。



レントゲンで歯の根が歯ぐき  
の中に残っているのを確認

### ケース④の対応



後から萌えてくる永久歯に影響  
が出ないように、残った歯の根  
の抜歯しました。

歯ぐきの中に残った歯の根を抜歯



### ケース⑤ 歯が抜け落ちた！（脱落）



母親のガイドで歩行中、発作による転倒。前歯を脱落。  
母親が脱落した歯と一緒に持って受診。



### ケース⑤の対応

歯が抜け落ちた場合でも、適切な対応と条件により  
歯を元の位置に植え直すことができます。



一般的に歯の組織が生きている  
短時間のうちに再植すると予後  
が良いと言われています。

再植し固定を行ったところ



### 再植のポイント

抜けた歯は捨てずに歯科に持っていきましょう。その際、水道水で抜けた歯を洗ってしまうと再植できません。  
牛乳か歯の保存液に入れて受診して下さい。

水道水



牛乳



歯の保存液



学校の保健室には  
歯の保存液が常備  
されています。



### おわりに ケガをした歯の「その後」

ぶつけた直後は症状がなくても、後から歯の変色や  
トラブルを生じることがあります。また、乳歯のケガの  
影響が、その後の永久歯に出る場合もあります。

定期的を受診し、経過観察していくことが大切です。



徐々に歯の色が黒変してくることがあります。